

動物愛護週間

ベルデの つきがた グラフティ



作
SのAたろう

犬は、最も古くに家畜化された動物とされています。日本での起源は解明されていませんが、約1万2000年前から1万年続いた縄文時代の遺跡からは埋葬された状態で犬の骨も発見されていますので、やはり古くから共に暮らしていたことがうかがえます。

「むかしむかし」から始まるお話の中でも犬は人の味方で、鬼や猿に立ち向かい、人に幸福をもたらし、人の代わりに犠牲になるなど常に共に生きるイメージが出来上がっています。現在も愛玩動物としてだけでなく、盲導犬や警察犬など多岐にわたって人を助けてくれているのです。

犬は元々集団で生活する動物で、犬と人とが「群れ」として楽しく幸せに暮らすためにも群れは必要です。成功体験を繰り返し、褒められることで幸せを感じてくれます。

飼養を放棄することなくこれからも幸せと一緒に暮らしていきましょう。